

2019年度 卒業・修業のつどい

3月20日(金・祝日)に『つどい』が行われ小学生2名、中学生8名が卒業しました。今年はこれまで以上に「子どもが主役」を中心に据えた準備を進めている途中で、新型コロナウイルスの影響で実施が危ぶまれる状況もありましたが、企画の一部変更や短縮をして本番を迎えることができました。



つどい最後の集合写真照れから全員ではありませんが良い表情です。



第1部 証書渡しとスピーチ

証書には、一人ひとりがスクールで過ごした歩みと今後への期待を込めた文章が書かれています。卒業証書を大塚学園長が、修業証書は初等部担当スタッフが読み上げて、みんなで完成させたアルバムと一緒に手渡ししました。証書を受け取った生徒たち、特に初等部の生徒(小学生)は少し緊張した面持ちながら、それぞれ自分の思いを立派にスピーチしてくれました。

続いて、学園長から始まってスタッフ全員、卒業生の父母の順にスピーチがあり、それぞれの言葉で子どもたちが成長してきた姿や今後への期待が語られ、父母からは卒業を喜ぶ気持ちやみんなへの感謝の気持ちも述べられました。こうして第1部が終了しました。



保護者・スタッフから



卒業アルバム



卒業アルバムでは、みんなが楽しめるように生徒たち一人一人ががんばり作りました。

中学生は大きく3チームに分かれ、Aチームは4月～9月の行事と理科実験のページを、Bチームは10月～3月の行事と日常・スポーツのページを、Cチームは学生実習のページを担当しました。

行事ページは、楽しさが伝わるように、みんながバランスよく写真が入るように考えて作っていました。また変顔などの写真は本人の許可を取って使うなど、みんなが見て楽しめるようによく話し合っていました。

初等部は、行事を中心とした10ページを分担です。みんな担当したページにそれぞれの思いや工夫をこらして楽しいものができました。今年、それぞれの思いが詰まった全54ページになりました。(記：原稿/大塚、構成/北)

